

・深夜販売

別紙「犬（猫）と人間の標準年令換算表」のとおり、生後 2 カ月の子犬・子猫は、人間の 3 才児に相当しています。それ以下であればよちよち歩きの赤ちゃんと言えます。そのような幼少ペットの深夜販売は、深夜にペットショップ等から家庭へ移動することによって、生活環境や世話する人の激変などでストレスを掛け過ぎるだけでなく、睡眠時間の短縮を招くことになるため、当然禁止されるべきであります。

よって、少なくとも 19:00 時～翌 9:00 時の夜間・早朝は販売禁止とすべきです。

・販売時間

過度に客に触れさせることや不特定多数の人間から見られ続けることのストレスを減らすため、30 分程度の休息時間を数回設定し休ませる必要があります。更に、過度な騒音、強烈な照明、点滅を繰り返す明かり、不適切な温度管理や換気、不十分な世話などがあれば、更なるストレスとなるので改善しなければならないし、それに連れて販売時間も制限されるべきです。

販売時間は、幼令な子犬・子猫にとって、店頭での販売時間が短ければ短いほどいいに決まっているので、数時間以内が理想です。最長でも午前 9 時以降から午後 7 時までとし、途中休息時間を設けること。

・移動販売

一時的なイベント会場や路上などでの販売は、狭小ケージ内に長時間閉じ込めていたり、風雨の影響、寒冷や暑熱の影響、換気不十分の影響、雑踏での騒音の影響などで、ペットが過大なストレス下に置かれていることから動物福祉上の問題があります。さらに販売時に新たな飼い主に必要な説明をしていない、購入後に連絡が取れないなどの対応が不十分であることなど、購入トラブルが多くあります。

よって、移動販売は禁止すべきです。

◎当連絡会は、一般社団法人全国ペット協会（ZPK）等と協力してストップキャンペーンを展開しています。（別紙）

・インターネット販売

インターネットの通信販売で、以下のようなトラブルが多くあります。

- ・ペット購入代金を支払ったが、ペットが届かない
- ・掲示されたペットと違うものが届けられた
- ・購入したペットが病気であったり、障害があった
- ・対面販売でないために、直接ペットの状態をチェックできないうえ、販売時に必要な

説明がない

- ・購入後、病気等のトラブルが生じて、連絡がEメールのみで、話し合いができない(話し合いを受け入れてもらえない)ために、泣き寝入りを余儀なくされた
- ・購入後のトラブルに、連絡できてものりくらしで誠意ある対応をしない
- ・購入後、連絡しようとしたが、ウェブサイトが削除されていた。またその住所や電話番号が存在していなかった。

よって、インターネットでの通信販売は禁止すべきです。

◎当連絡会は、一般社団法人全国ペット協会等と協力して、ネット販売禁止のキャンペーンを展開しています。(別紙)

・犬猫幼令動物の販売日齢

犬の発育段階は、第1期(新生子期)、第2期(移行期、過渡期)、第3期(社会化期、社会適応期)、第4期(若年期、少年期)、そして成年期となっています。新生子期は生後2週令までで、移行期は生後2週令から3週令で、社会化期は4週令から12~14週令、若年期は性成熟を含み個体差によって6~12ヶ月令で、それ以降が成年期となっています。

行動学的視点：社会化期に入り6週令までに人との接触があることが必要であり、成犬に特有ないくつかの行動が始まります。それ故、特に6週令から8週令は母犬や兄弟とのじゃれあいから咬み加減などを学ぶ大切な2週間であり重要な時期とされています。犬同士の関係や人や他の動物との接触を通して良好な関係が作られるだけでなく、犬としての自覚や社会性を身につける重要な時期です。そして、8週令ぐらいから行動の善し悪しを教えることができ、しつけ訓練(教育)を開始できるようになります。

このことから8週令を過ぎてから、親兄弟から引き離し、新しい家族の元に引取られることが良いとしています。

文献：① 犬猫の小仔科、JOHNNY D, HOSKINS, DVM 著 LLLセミナー、② THE VETERINARY CLINICS OF NORTH AMERICA 獣医臨床シリーズ 1999年版 Vol.27/No.8 コンパニオンアニマルの行動学の進歩 学窓社、③ 動物行動治療学 BENJAMIN HART LYNETTE A. HART 著 学窓社、④ 犬と猫の行動学(問題行動の理論と実践) Valerie O'Farrell / Peter Neville / Christopher St.C. Ross 著 学窓社、⑤ 犬・猫の問題行動ハンドブック G. LANDSBERG W. HUNTHAUSEN L. ACKERMAN 著 学窓社、⑥ Veterinary Focus (犬と猫の行動学) 2010#20.1 ROYAL CANIN、⑦ ヒューマン・アニマル・ボンド(動物病院経営バイブル) ブルース・フォーグル著 ペットライフ社

移行抗体免疫等：誕生後、初乳を飲むことによって母体の持つ免疫抗体が新生児に移行し、感染を抑制して健やかに成長します。これには、母親が適切なワクチン接種を受け、充分免疫を有してことが条件となります。初乳からの防御抗体は、子犬自身の免疫系が作動し始めるにつれて初乳からの抗体が低下していき、12週令で消失します。生後2カ月(約8週令)前後に最初のワクチン接種を、そして12週令(約3ヶ月令)で再接種することが推奨されています。母体からの抗体が残っていればいるほどワクチン接種してもその効果

が削がれてしまうので、さらなる追加接種が必要となります。来院する子犬のワクチン歴を調べると、早期に接種されているのが多く、母体からの抗体残存時と重なるため、追加接種が余計に必要となります。(ワクチネーションプログラムの混乱)

よって、8週令時にワクチン接種してから、新しい飼い主の元に行くのが良いのです。

これらのことから、ブリーダーは、誕生から8週令までの間、犬の社会性のみならず、対人間関係を良好なものにし、病気もなく健康にするために、丁寧で頻繁な世話をし、十分なハンドリングをする必要があります、その責任は重いものがあります。

さらに、自治体に引取られて殺処分される犬の中には、若年令のものがかなりおり、その理由に犬の行動問題(攻撃性など)で飼い主が飼育をあきらめたと聞いています。これは、犬が社会性や咬みつき抑制が身につけていないためではないかと考えられます。このことの事実関係については、今後環境省と自治体が連携して調査して下さるようお願いしたい。

猫については、誕生から8週令までの間に、多くの人間との接触が重要視され、社会性などについては、犬ほどの記述がないが、おおむね犬と同様に8週令以上になってから、新しい飼い主の元に行くのが良いとされています。

これらのことから、幼令ペットの子犬や子猫を親兄弟から引き離すのは、8週令以上になってからが良いのです。動物福祉後進国と言われたいために。

・繁殖制限措置

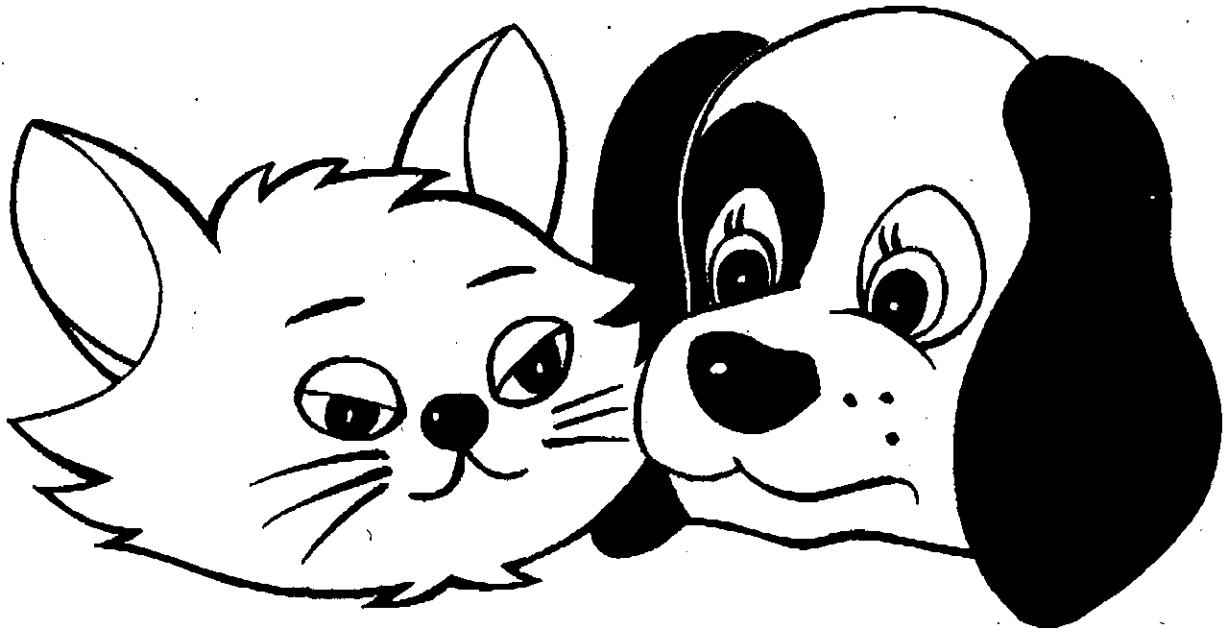
犬は、超大型犬、大型犬、中型犬、小型犬、超小型犬などの大きさや犬種によって検討すべきで、一律にすることはできません。お産の様子は、正常分娩、異常分娩、帝王切開があります。分娩(お産)が正常で安産なのか、正常だが時間がかかり過ぎたり多胎で負担がかかり過ぎるものなどがあります。骨盤(産道)狭窄や過大胎児などで帝王切開するものもあります。過大胎児や逆子での難産、死産や異常出血、そして遺伝性疾患で異常を持つ仔などが生まれることもあります。

初回交配は、2回目の発情以降に行うこと。毎回の発情での交配は母体保護のため禁止する。最終交配は、別紙の「犬(猫)と人間の標準年令換算表」から判断すれば、正常分娩している小型種では8才令、大型種は6才令までとする。帝王切開は、3回までとする。異常分娩や遺伝性疾患を持つものは、避妊手術をして妊娠させないようにする。

猫は犬に準ずるが、販売目的以外は不慮の妊娠を避けるため、避妊手術をするべきです。

・飼養施設(犬猫のケージの大きさ等)

数時間ごとに散歩や運動場に出せるなら、床面積は足を延ばして横になれ、高さは頭がぶつからない大きさはあればよいでしょう。数時間ごとの散歩等ができずに、長時間閉じ込めるのであれば、寝床と遊び場、そして食器と給水器、猫の場合はさらにトイレ容器が置けるスペースがあることと(体長の2X5倍以上)、高さは犬または猫が立てる高さがあることが望まれます。



犬(猫)と人間の標準年令換算表

●元気がないと思ったら

すぐ診察を受けましょう。

犬(猫)	人間	犬(猫)	人間
1ヵ月	1才	8年	48才
2ヵ月	3才	9年	52才
3ヵ月	5才	10年	56才
6ヵ月	9才	11年	60才
9ヵ月	13才	12年	64才
1年	17才	13年	68才
1年半	20才	14年	72才
2年	23才	15年	76才
3年	28才	16年	80才
4年	32才	17年	84才
5年	36才	18年	88才
6年	40才	19年	92才
7年	44才	20年	96才

●ペットは気をつけて飼うと

こんなに長生きします。

注) 犬と猫、または種類により幾らか違いがあります。